

そのほかにも、若年勤労者世帯家賃補助、空家対策事業の推進など、定住施策をより一層発展させて参ります。

教育環境整備について

鳥取県においては、昨年から小・中学校の全学年で35人編制の少人数学級の取組みを行っておりますが、本町では、以前より独自の取組みとして、小学校1年生から3年生、中学校全学年で30人編制の少人数学級とし児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育を実践しております。また、国や県の支援を受けながら不登校やいじめ問題への対策として児童・生徒への心理テストの実施や障がいの有無によらず誰もが地域の学校で学べるインクルーシブ教育など現代の課題・ニーズに対して率先して取り組んでおります。



また、岩美北小学校は建築から30年近く経過し老朽化等で損傷がみられるため昨年より大規模改修に着手しておりますが、今年の3月には完了する予定であります。今後も子ども達が充実した学校生活を送ることのできるよう施設面からも教育環境を充実させたいと考えております。

防災・減災対策について

一昨年に多くの方々の尊い命を奪った東日本大震災を教訓として、防災計画の見直し、津波ハザードマップの作成に着手するなど関係機関と連携を図りながら防災体制の強化に取り組んでおります。現在の防災行政無線施設が老朽化していることもあり、昨年からは防災行政無線のデジタル化を進めております。防災行政無線のデジタル化により、災害時の情報提供の充実及び双方向機能を活用した情報収集能力の向上を図っております。

震災以降、改めて地域における住民同士の助け合いが重要視されている中で地域の防災力を高めるため、防災研修会、防災訓練を継続して実施するとともに、地元自治会を中心とした自主防災組織の設置を推進してまいります。本町が安全安心のまちであり続けるよう、引き続き防災対策に全力で取り組んで参ります。

道路整備と道の駅構想について

本町の重要な生活基盤となります道路整備については、昨年12月3日に駒馳山バイパスのトンネルが貫通し平成25年度の供用開始に向けて大きな弾みとなりました。駒馳山バイパスの整備と共に鳥取豊岡宮津自動車道の一部をなす岩美道路も併せて整備促進、早期開通へ向けて引き続き関係機関へ強く働きかけを参ります。

また、これらの道路整備に併せ、「道の駅」構想を実現するため、設立準備委員会を発足

し整備に向け進めているところであります。「道の駅」は農産物、水産加工品を中心とした町の特産品販売の中核となる施設であるとともに町の魅力を広く発信するための重要な拠点として位置づけており、災害時には災害情報の提供、物資受入搬出等の地域防災拠点施設としての機能も期待されます。道路整備と併せて早期実現を目指し関係機関と協力して進めて参ります。

このほか、本年は、本町が生んだ童謡唱歌などの音楽教育の大家、田村虎蔵先生の生誕140周年を記念しまして、様々な音楽イベント等を町内外で計画しております。町民皆様のこぞってのご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、本年におきましても職員一丸となって、第9次総合計画をまちづくりの指針とし、町民の皆様と共にこの町にしかない魅力的なまちづくりを推進して参りますので、一層のお力添えをいただきますようお願いいたしますとともに、皆さまのご多幸とご健康をお祈り申し上げて、年頭にあたってのあいさつといたします。

